

二 經費の不足

(1) 地方組合に講師を派遣するに少くある。
(2) 講師に物價的犠牲を拂はせ過ぎ、従つて限られた
る講師を命につかぬ。
(3) よき出版物を盗むことか出来ぬ。

三 組合運動が芳亭芳難である。

(1) 組合の中堅分子は、ストライキ、紛争、其他の活
動のために全精力を奮はれて、余力を待たぬ。
(2) 従つて火曜研究会員の如きも、いつも芳少の止む
を得ざる欠席者が免かぬ。
(3) 右の欠席者の講議が中絶する結果の不履を防ぐ
ために、教科書を使用する事にしたのである。

四 観念的教育的の驅逐

在来の労働組合の教育が、やゝともすると観念的に走り

一片の社会学原理を以て、一切の現実運動を卒せんとする
傾向は、日本の労働組合運動の、便実なる発露を疎忽し、
我々東労働同盟会教育部は、この傾向に對して断乎と
して反對する。

無産階級としての歴史的使命を知らしめ、社会進化的の真
理を研めると共に、よく日本利下の現実の上で、確固たる
政策をたて得べき識見を養成し、更に無産階級運動の一分
野を擔任する労働組合員は、日労働運動の、實際知識と攻衛
を養ふべきである。従つて労働組合の智識分子の任務は、
理論の研究にとらわれず、非ずして、あくまで、労働組合
の實際戦士、實際組織運用者でなければならぬ。
是れ、東労働同盟会教育部の、莫らざる根本精神である。

一九二五年八月